

特別な日、ドアを開けて入ってきた文香は
足首にぶつかって波のように揺れる
白くて長いプロデュースのドレスを
着たままプールの前に立った。

「あの…着てみました…いかがですか？」
「綺麗だな、サイズは大丈夫？」
「はい、サイズは…正確でした…」

恥ずかしさを隠せずに、口を隠した
本のすきまから漏れるきれいな声。
しなやかな美しい音は彼女が着たドレスと
相まって、清楚な美を流して払っている。

Special thanks @Candyhongsam3

patreon.com/boobs gumroad.com/boobs

しばらく黙って文香の体を着実に観察する視線。
プロデューサーの目つきは妙に変わって
彼女の感覚を突く。

やっと本の上に目だけ現れる文香は結局、
恥ずかしさに勝てず、そつと目を向けた。

「あの…そんなにじろじろ見たら…」

「ああ、ごめん。」

Special thanks @Candyhongsam3

patreon.com/boobs gumroad.com/boobs

プレゼントされたドレス、
着てくれないかと言うプロデューサーの
願いを快く受けてしまったんじゃないかと
文香の頭の中は恥ずかしさでいっぱい。
一瞬の喜びでやってしまった衝動的な許諾。
そして、小さい部屋の中には彼と文香だけ。
狭い所を埋めていくふたりの体温が
特別にお互いを意識している。

「…文香…?」

変わってしまった声。
文香は、彼の心境を直感で気づいた。
見なくても十分に予想できるその声の正体。
すでに大きくなった興奮の熱に文香は指を震える。

「文香で、オナニーしたいんだ…」
彼の本音に文香の目が大きくなる。
予想したが、予想できなかった
矛盾した感情が彼女を襲った。

変態的な性癖、文香も知っている
欲望が首を突きつけた。

「文香…」

本の下の愛らしい唇がぐずぐずしているのを
見たのだろうか、プロデューサーはベルトを外して
もどかしくなったペニスを取り出す。

完全に姿を現した形状に文香の小さな悲鳴が出た。

「何、何してるんですか……！」

閉じた目の上に文香の細いまつげが見える。

本の中の、たとえ小さいでもはつきりした音色が響き渡る。

しかし、硬くなったペニスの怒りは文香のドレスを向けて、すぐに流れ出た液体を集めて透明な鈴を作った。

「今の文香……とても美しいから……ごめん！」

謝罪らしくない謝罪。

すでに自分のぐつと立った肉棒を握ったまま撫でる手淫が続く。

文香の姿を向けて、実直な欲望を前面に出して揺さぶるペニスが皮に覆われたままかき混ぜてなる。

「顔…見せてくれない」

どうしても拒絶できずに本を降ろしておく文香。
しかし、恥ずかしさの欠片は、まだ残ったまま。

「少しだけ…して…満足してください。」

彼女の意思を問わず、すでに盛り上がっているオナニー。
ゆっくりこすり付けている行為は文香の視線にもかまわずに、
まるで自慢するように、続いていく。

「……」

平気なふりをしようとしても視線を切り離すことのできない
プロデューサーのペニス。

文香は彼のあざやかな興奮を見守りながら、顔に熱を感じる。

無視しようとしても、しきりにじろりじろりと見ている文香の視線。
恥ずかしさすら忘れさせられる彼の没入は彼女の目を率いている。
沈黙。
そして、茫然と響く音。

文香に向かって凶悪に勃起したペニスを
揺さぶる手ぶりに体液が吸い込んで、汚らわしい音を流す。
亀頭まで掃き出さながらたっぷり楽しむ。
プロデューサーの欲望が、まだ、増える。

「文香、一皮…脱いでくれる…」

厚かましい要求だが、文香は断れない。
ドレスを着ながら覚えた構造を思い出して、
胸とスカート一枚を脱いだ。

「もしかして… 脱げ易く… 作りましたか…」

答えず、さらに力が入って
肉棒を触っているプロデューサー。

彼女の豊満なおっぱい、膨らんでる可愛いピンク色の乳頭、

ベルベットを落ち、明らかになった文香のぷつくらしたような、くびれた脚のやらしさ、
きれいに整えた陰毛の間で明らかになった隠密な秘府。

恥ずかしい身なりがなのまま、文香はプロデューサーのおかずになってしまった。

「汚れたらダメだから…全部…ねえ？」
「ぜ、全部ですか…？」

亀頭をいじっている手、どンドン上昇する要求、
文香の隠し出来ない慌てた表情…。
むしろ、その姿に反応した男根がうごめく。

体面もなく、
欲望に襲われた要求の声に文香は困惑しているが、
どうじにいつぱい満ちている熱を直感した。

Special thanks @Candyhongsam3

patreon.com/boobs gumroad.com/boobs

裸。
肌に優しく触れては布の流れが彼の耳元を起こし、
脱いで出した光景一つまで逃さず全部刻むプロデューサー。
彼女の体は寒さではなく、
恥かしさと興奮に満ちたまま、ひそかに揺れている。

「これで…良いでしょうか…?」

慎重に問う声はあっけなく乱れる。
いたいたけな彼女の体を鑑賞しながらプロデューサーの手ぶりが
素早く行き来している。
血管が膨らんでしまった頑丈な形相、熱くて大きくなった赤黒い血色のペニス。
すでに流した体液に陰莖は軽いつやめく。
文香は自分も知らないうちに、ごっくん、唾を飲んだ。

Special thanks @Candyhongsam3

patreon.com/boobs gumroad.com/boobs

「プロデューサーさん」

プロデューサーは文香に手を出さない。
決して。

ねっとりしたオナニーが加速すればするほど、
妙なおいがる錯覚に文香の紅潮が濃くなって、唇がブルブル震える。
無視しようとした視線は、しきりに男根に向かう。
こっさり生まれた欲。
文香は次々浮上する自分の欲望を悟るが、否定しようとする。

Special thanks @Candyhongsam3

patreon.com/boobs gumroad.com/boobs

「はあ…ん…あ…」

ちらりと見ていたことすら忘れて、完全に固定されてしまう文香の目。前日、彼と混ぜていた体温が浮上して、貪欲に入れていた感触が浮かぶ。あわてた理性は消えて、流れる汗のにおいと男根で流れた香りに酔う。自然に漏れる熱いため息はどうしようもなかった。

（プロデューサーさん…もう出そう…これで終わるのでしょうか…）

当初とは違い、文香の心は別のものを抱いて行く。限界まで硬くなった輪郭を激しく触る姿を見守ってくれる。

「文、文香…！」

「はい、好きな所…どこでも良いですから…どうぞ」

「ぎゃっ…」

噴出する射精、精液の糸が強く発散、文香の肌にふりそそぐ。滑らかな腹をいっぱい染めた濁った体液が文香の汗を覆っている。ゆっくり流れ、へそまで溜まって行く大量の精液。感触を染める温度を文香の熱が飲みこんで出している。

何度もびくくんびくくんしたペニスが落ち着き、彼女の素肌を乗って流れた精液が鼠径を流れる時。お互いの呼吸だけが部屋の中に響き渡る。

Special thanks @Candyhongsam3

patreon.com/boobs gumroad.com/boobs

「気持ち…良かったですか？」

震える胸は鎮まらないが、彼女は優しく微笑んだ。隠しておいた惜しさがばれることを気にする。文香の細かい声がプロデューサーの心を刺激する。すつきり出した快楽もつかの間、自分でグチョグチョになつた愛らしい文香の裸を見て、また欲情してしまう。

「本当に…これで満足しましたか…？」

寂寞を破るあでやかな震えが彼の肩を震えさせる。しばらく流れる目つきの合せ。

惜しい気持ちを隠さなかつた声に気付いたプロデューサーと、太ももを引きつらせる文香。

この次に何をするのか、あえて言う必要もなかつた。

Special thanks @Candyhongsam3

patreon.com/boobs gumroad.com/boobs



Special thanks @Candyhongsam3

patreon.com/boobs gumroad.com/boobs



Special thanks @Candyhongsam3

patreon.com/boobs gumroad.com/boobs



Special thanks @Candyhongsam3

patreon.com/boobs gumroad.com/boobs



Special thanks @Candyhongsam3

patreon.com/boobs gumroad.com/boobs



Special thanks @Candyhongsam3

patreon.com/boobs gumroad.com/boobs



Special thanks @Candyhongsam3

patreon.com/boobs gumroad.com/boobs



Special thanks @Candyhongsam3

patreon.com/boobs gumroad.com/boobs



Special thanks @Candyhongsam3

patreon.com/boobs gumroad.com/boobs



Special thanks @Candyhongsam3

patreon.com/boobs gumroad.com/boobs



Special thanks @Candyhongsam3

patreon.com/boobs gumroad.com/boobs



Special thanks @Candyhongsam3

patreon.com/boobs gumroad.com/boobs



Special thanks @Candyhongsam3

patreon.com/boobs gumroad.com/boobs



Special thanks @Candyhongsam3

patreon.com/boobs gumroad.com/boobs



Special thanks @Candyhongsam3

patreon.com/boobs gumroad.com/boobs